

## 昭和の森 親子田んぼ教室(第2回)

### 親子で稻刈りを体験しよう！

山田益弘（千葉市）

日時：2012年9月29日（土）9:30～12:00 天候：晴れ

参加者：26名（子ども14名、大人12名）

見学：大人1名、子ども1名。SSN勉強会メンバー11名

担当指導員：山下美佐子、山田益弘、佐野由輝、花島伸美

協力：昭和の森ビオトープ会（西川 章、小林義和、佐藤一枝、武田宏子）

親子で田植えと稻刈りをしてみよう！をテーマに春、募集し、5月12日11組で田植えをした稻が大きく育ち、今日その稻刈りです。2組のキャンセルがあり、9組（子ども14名、大人12名）での実施となりました。年中以下のグループ（子ども4名、大人3名）は別行動とし、虫の捕獲や、草花遊び、下夕田池で鳥などの観察会としました（刃物使用は無理と判断しました）。

西川氏より稻の刈り方（特に鎌の取り扱いには充分に注意する様）、東ね方、はざ架け等の指導を受け稻刈りスタートです。田んぼの水はけが充分でなく又、稻も風で倒されおり、作業は大変だと思われました。3枚の田んぼ各々に、稻刈り組、東ね・はざ架け組に分けて配置し、前半、後半で作業を交替する事としました。稻刈りは、最初恐る恐る、慣れてくればザクッ、ザクッと切れる様になり、東ねは、なかなか難しく、はざ架けは、ドロンコになりながらで、これ又大変でした…。親子、グループが互いに助け合いながら無事全作業を終了することが出来ました。

田んぼは雑草や、害虫を含め多様な動植物が生きている生物の宝庫あることや、田んぼの生きものの繋がり等を説明し、お米を育てている農家の方々の苦労の一部を体験し、食べ物を大切にすることを学んでもらいました。

#### <参加者からの一言>

- ・鎌が上手に使える様になった。
- ・虫がイッパイいてビックリした。
- ・ドロンコになって楽しかった。
- ・子どもに貴重な経験をさせる事が出来て良かった。
- ・農業の大変さが良く判った。
- ・子どもと協力し合い作業する事が出来た。
- ・参加してよかったです。



との感想をいただき、スタッフ一同安心でした。

お土産に皆で刈り取った稻穂を少量ですが家族ごとにお渡しし、解散しました。

昭和の森ビオトープ会皆様のご協力、心より感謝いたします。ありがとうございました。

なお当日、第57回SSN勉強会の午前の部で11名が見学されました。